

2021年度 日本工学院八王子専門学校

ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース

ベーシックレッスン1

対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	西川進・早川治・小澤悠生・松川かの子・永田範正・藤崎昌弘・大野元毅・田原歩・恒枝賢治・BAN・二村しおり	実務経験	有	職種	ミュージシャン						

授業概要

楽器演奏を職業とする「プロミュージシャン」になるためには、ただ与えられたお手本をコピーして演奏するだけでは無く、自ら考えたコードフォーム、フレーズなどを瞬間的に発揮したインプロヴィゼーション力のスキルを取得してもらう事を目的とする。サウンドメイクや楽器奏法のテクニックも取得していく。音楽・動画・写真・デザインという幅広いアートについて学ぶことも加えて、創造力が豊富な音楽家を目指す。

到達目標

多様な音楽ジャンル、リズム形態、テンポ、拍子、コード進行であっても、即座に対応できるインプロヴィゼーション力を身につけること。ポップスフィールドの中でコードネームに対して音楽をより良くする適切なバックキングが出来るということを前提としている。自分本位な演奏だけでは無く、いかに周りの音を聴きながら演奏するか、そして良い演奏ができる雰囲気を作るためのコミュニケーション能力も身につけること。総合的、実践的

授業方法

即興力を身につけるために、各回のテーマに沿った課題曲を時間をかけ演奏を実施する。必要に応じた講師からのフィードバックにより今後への課題を各自考察する。ヴォーカリストコースとのコラボレーションによる共創型課題も適時実施する。各楽器奏法の体得に加えて、サウンドの加工やエフェクトの使用法を解説する。実際にクライアントに求められるような内容に沿ったサウンド作品の制作をPBLベースで実践を行う。

成績評価方法

試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)

履修上の注意

専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方を持ち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

教科書教材

適時、講師より教材を配布する。

回数	授業計画
第1回	「課題曲1」を初見で演奏。/サウンドロゴやBGM、効果音についての解説、導入。
第2回	「課題曲1」を予習ありで演奏。/ループ素材を使用したBGM作成1。
第3回	決められたコード進行によるインプロヴィゼーション。/ループ素材を使用したBGM作成2 作品提出。

ベーシックレッスン1

第4回	「課題曲2」を初見で演奏。/リズムの打ち込み、基本的なリズムパターンのBGM作成1。
第5回	「課題曲2」を予習ありで演奏。/リズムの打ち込み、基本的なリズムパターンのBGM作成2 作品提出。
第6回	決められたコード進行によるインプロヴィゼーション。/リズムと音階楽器を使用したサウンドロゴ制作1。
第7回	「課題曲3」を初見で演奏。/リズムと音階楽器を使用したサウンドロゴ制作2 作品提出。
第8回	「課題曲3」を予習ありで演奏。/マイクを使用した音声収録、素材の準備。
第9回	決められたコード進行によるインプロヴィゼーション。/音声を加えたサウンドロゴ制作1。
第10回	「課題曲4」を初見で演奏。/音声を加えたサウンドロゴ制作2 作品提出。
第11回	「課題曲4」を予習ありで演奏。/Adobe Photoshopを制作に活用。
第12回	決められたコード進行によるインプロヴィゼーション。/Adobe Illustratorを制作に活用。
第13回	「課題曲5」を初見で演奏。/Adobe Premiere Proを制作に活用。
第14回	「課題曲5」を予習ありで演奏。/Adobe Premiere Proを制作に活用。
第15回	決められたコード進行によるインプロヴィゼーション。/Youtubeアカウントを設定し作品を完成させる。